



放射性物質による汚染に対する防護服

JIS Z 4809 : 2012

(JSAA/JSA)

平成 24 年 1 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 労働安全用具技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神 山 宣 彦	東洋大学
(委員)	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	小 野 真理子	独立行政法人労働安全衛生総合研究所
	亀 澤 典 子	厚生労働省
	後 藤 恭 助	財団法人日本防災協会
	小 山 純 二	産業用ガス検知警報器工業会
	杉 本 まさ子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント 協会
	谷 澤 和 彦	日本安全帽工業会
	利 岡 和 範	日本安全靴工業会
	豊 馬 誠	電気事業連合会
	根 岸 公一郎	株式会社千代田テクノル
	野 原 由樹子	日本防護服研究会
	松 村 不二夫	公益社団法人日本保安用品協会
	本 山 建 雄	公益社団法人産業安全技術協会
	森 川 淳 子	東京工業大学
	森 脇 誠	建設業労働災害防止協会
	山 田 比路史	日本呼吸用保護具工業会
	山 本 直 之	山本光学株式会社
	吉 澤 道 夫	独立行政法人日本原子力研究開発機構

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 36.2.1 改正：平成 24.1.20

官 報 公 示：平成 24.1.20

原 案 作 成 者：公益社団法人日本保安用品協会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-15 和光湯島ビル TEL 03-5804-3125)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：労働安全用具技術専門委員会 (委員長 神山 宣彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類及びサイズ	3
4.1 種類	3
4.2 サイズ	3
5 構造	3
5.1 一般	3
5.2 陽圧服	3
5.3 密閉服	3
6 性能要求事項	4
6.1 放射性物質による汚染に対する防護服の完成品	4
6.2 放射性物質による汚染に対する防護服の材料	5
6.3 放射性物質による汚染に対する防護服の縫合部	7
7 検査	8
7.1 一般	8
7.2 形式検査	8
7.3 受渡検査	8
8 表示	8
9 取扱説明書	8
附属書 JA (参考) 陽圧服の構造	10
附属書 JB (規定) V 形防護服の材料試験	11
附属書 JC (参考) トリチウムに対する防護	12
附属書 JD (参考) JIS と対応国際規格との対比表	13
解 説	16

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本保安用品協会（JSAA）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 4809:1993** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

放射性物質による汚染に対する防護服

Protective clothing for use against radioactive contamination

序文

この規格は、1987年に第1版として発行された **ISO 8194** を基とし、その後の技術進歩及び我が国の使用状況を考慮し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JD** に示す。

1 適用範囲

この規格は、放射性物質による汚染に対する防護を目的として使用する防護服（以下、防護服という。）の種類、性能及び表示について規定する。ただし、放射線の遮蔽を目的とする防護服には適用しない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 8194:1987, Radiation protection—Clothing for protection against radioactive contamination—Design, selection, testing and use (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 6783 農業用エチレン・酢酸ビニル樹脂フィルム

JIS L 1092 繊維製品の防水性試験方法

JIS L 1093 繊維製品の縫目強さ試験方法

JIS L 1096 織物及び編物の生地試験方法

JIS L 1099 繊維製品の透湿度試験方法

JIS L 1913 一般不織布試験方法

JIS T 7101 医療ガス配管設備

JIS T 8001 呼吸用保護具用語

JIS T 8005 防護服の一般要求事項

JIS T 8032 化学防護服—防護服完成品の耐浸透性試験

JIS T 8051 防護服—機械的特性—突刺抵抗性試験方法

JIS T 8115 化学防護服

JIS T 8124-1 固体粉じんに対する防護服—第1部：浮遊固体粉じん防護用密閉服（タイプ5化学防護服）の性能要求事項